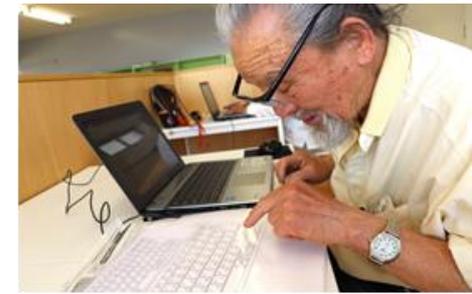


# 「しごととコンビニ」事業（奈義町まちの人事部）



一般社団法人つながる地域づくり研究所  
代表理事 一井暁子

2019年3月26日

## 【目的】

町民や事業所が望む、生き方やなりたい姿を叶えられるような「はたらく」（働き方や経営）を増やし、育て、つなぐことで、子ども達もワクワクする未来を描けるようにし、町を元気にする。

## 【ポイント】

- 休業中のガソリンスタンドをリノベーションした「しごとスタンド」が活動拠点。
- 人材サポートの専門企業と連携して、さまざまなサービスを提供。



町×ナギカラ×専門企業×スタッフ(町民+Iターン)

まちの人事部

### 就職・採用サポート

#### しごと コンビニ

子育てママやシニア世代の「ちょっと働きたい」と、町内の「ちょっと手伝ってほしい」をつなぐ事業。  
※社会福祉協議会が実施していた「人材センター事業」も引継  
※2018年度からテレワークによる都市部からの受注も開始

#### ハローワーク との連携

求人情報端末の設置（県内初。役場外への設置は珍しい）、ハローワーク職員による求職者に対する相談や職業紹介、求人事業所への訪問相談など。

#### 求人チラシ 「ハタラク」

毎月発行、町広報誌と共に全戸に配付。公共施設や等にも設置。有料で求人広告を掲載。WEBとも連動。

#### NAGI タウンライターズ

養成講座を受け、卒業試験（町内で働く人を発信する「なぎではたらく」の制作）を経て、取材や撮影、書くことを仕事にしていく。

### キャリアアップサポート

#### 勉強会や カフェの 開催

パソコンや接遇スキルなどの研修、気軽に話し合えるカフェなど。

#### 町民先生

町民が先生となり、持っている知識や技術を教えることで、皆のスキルアップや、先生役のプチ起業にもつなげる。

#### 得意をしごと にPJ&企業 サポーターズ

好きなことや得意なことなどでチームを作り、仕事を創り出す。

### 労務サポート

#### まちの 社労士 さん

社労士が、月数回しごとスタンドにて無料相談を行う。勉強会も開催。



＼「ちょっとだけ働きたい人」と「ちょっとだけ手伝ってほしい人」をつなぐ事業／

## しごとコンビニ

雇用されるのではなく業務委託契約を結び、様々な「しごと」の中から自ら仕事を選び、働ける。  
自分の大切にしたい「こと」「ひと」を大切にしながら、都合の合う時間で、  
様々な仕事に挑戦でき、成長もできる新しい働き方。

しごとコンビニでは難しいものは、  
求人チラシ「ハタラク」への掲載や  
ハローワークをお勧め

これらの業務の手数料を  
依頼主様から頂いています



① ご依頼  
お問合せ



② ヒアリング  
現場確認



③ 契約書  
発注書



④ メンバー募集



⑤ 研修



⑥ おしごと実施



⑦ 振返り



⑧ 請求書送付  
報酬の支払

最近は、紹介での  
登録が増えています

＼登録メンバーがおしごとをするまで／



① 説明・登録会



② 個別面談  
契約書



③ サークルスクエアへ登録



④ パソコンのスキルチェック  
チャットワーク・Skypeへ登録  
→ パソコン塾へ

テレワーク  
希望の場合



⑤ おしごと情報待ち  
したい仕事があれば  
人事部へ連絡

## 仕分け・封入



配布時のミスが減らし効率化を図るために、自主的にミーティングを実施。業務改善に努めた結果、作業時間を短縮し、それまで10件以上あった配布ミスを0件にすることに成功した。

## アンケート収集



イベントに来られたお客様に気持ちよくアンケートにご回答いただくために、事前研修を実施。マナーを学び、ロールプレイングを通して実践に備えることで安心して業務に臨むことができた。

## 食品の選別



食品を品質によって指定されたグループに分けるお仕事。短時間でよりたくさんの選別を行うために、選別方法を工夫しながら実施した。

## 清掃業務



企業や病院など、さまざまな場所で清掃業務を行うメンバーが集まり、それぞれが工夫していることなどを共有し、サービス向上に努めている。

## 案内受付



観光案内所にて観光客に気持ちよく施設を利用していただくための改善策を検討。施設内のレイアウトや装飾の変更を行い、現場改善を実施。観光客からの要望も積極的に取り入れている。

## 資料作成



昔学んだパソコンを、また使えるようになりたいとパソコン塾に通っていた80歳のメンバー。スキルを着実に身につけ、パソコンでの資料作成の仕事を実施するまでに成長した。

## データ入力



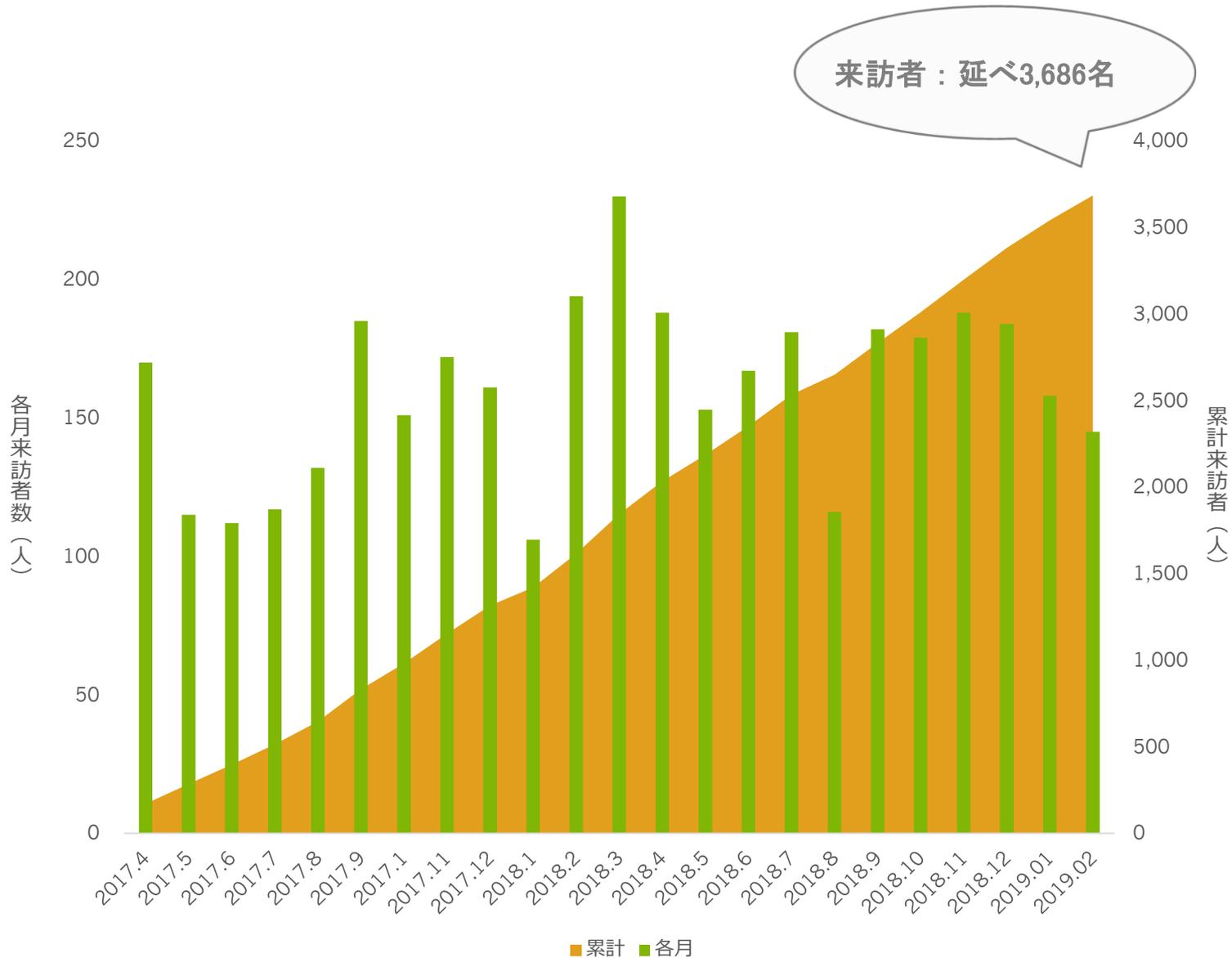
開始前にパソコンのスキルチェックを行い、スキルが足りない方はパソコン塾を活用して自主的に勉強。基準をクリアした方から順次、仕事を実施している。

## 企業サポーターズ

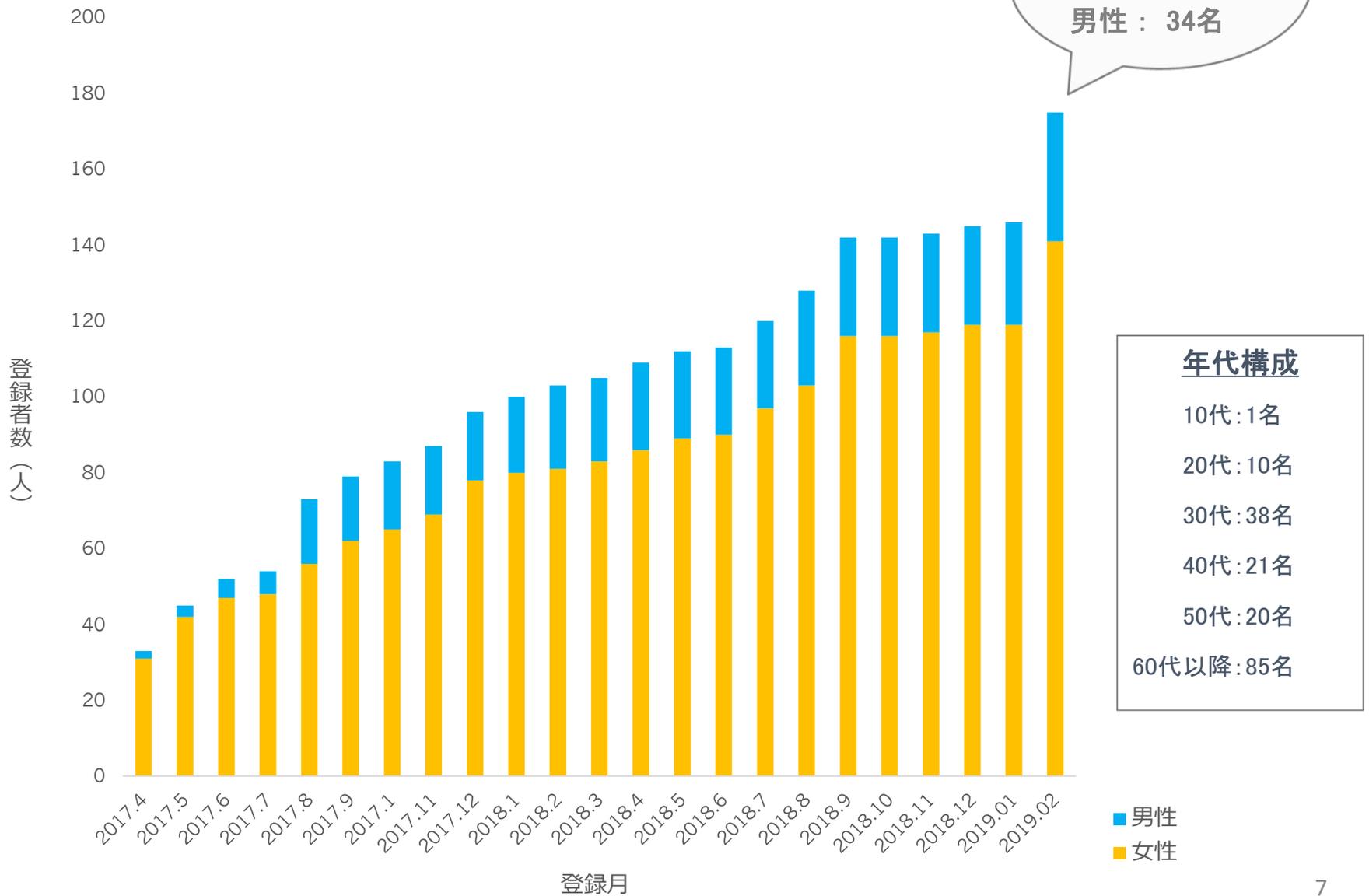


企業より依頼を受け、商品の詰め合わせ内容の検討や商品のモニターへの取材などを実施。仕事に必要な知識を身につけるために自主的なマーケティングの勉強会などを実施している。

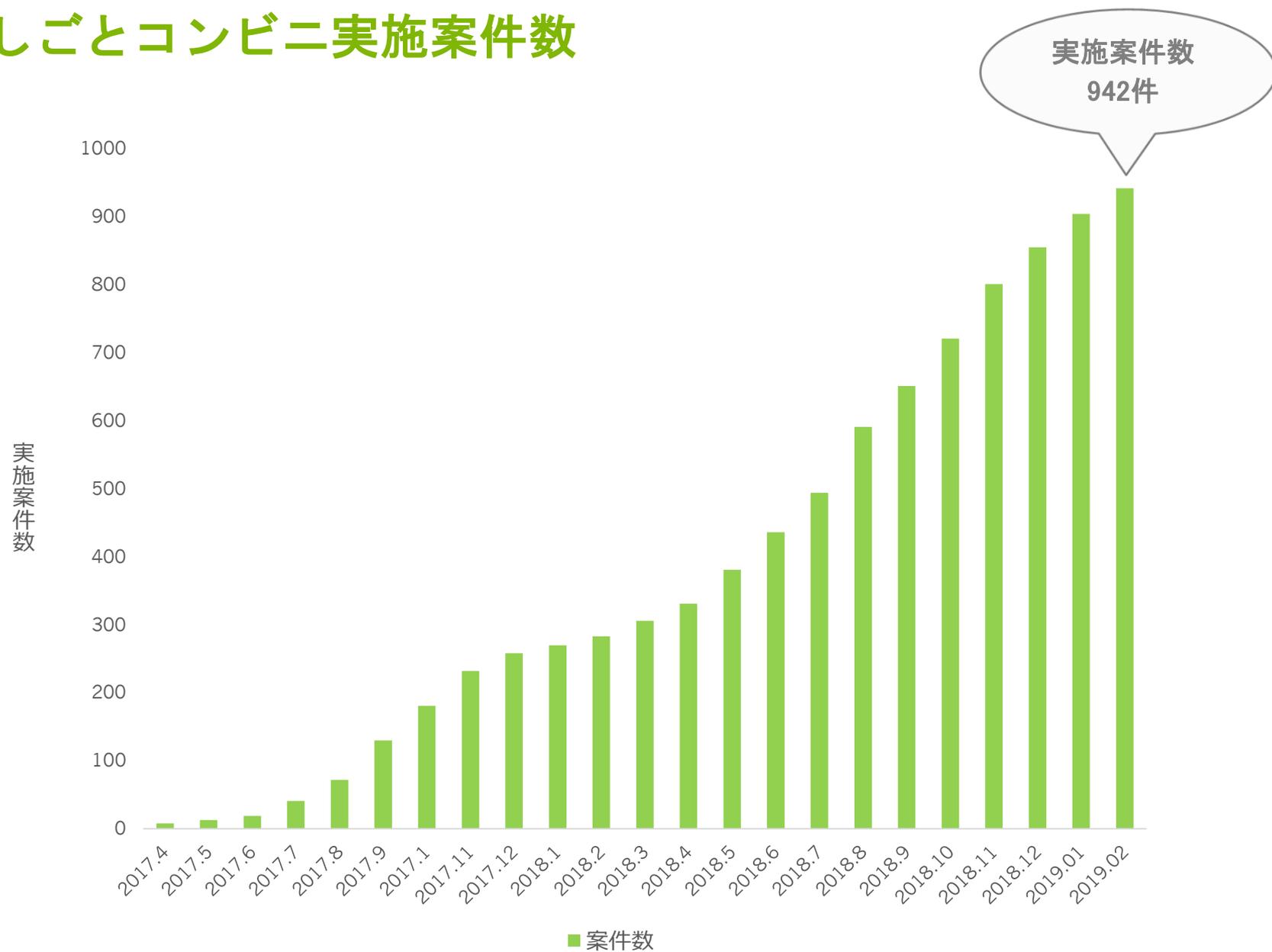
# しごとスタンド来訪者数



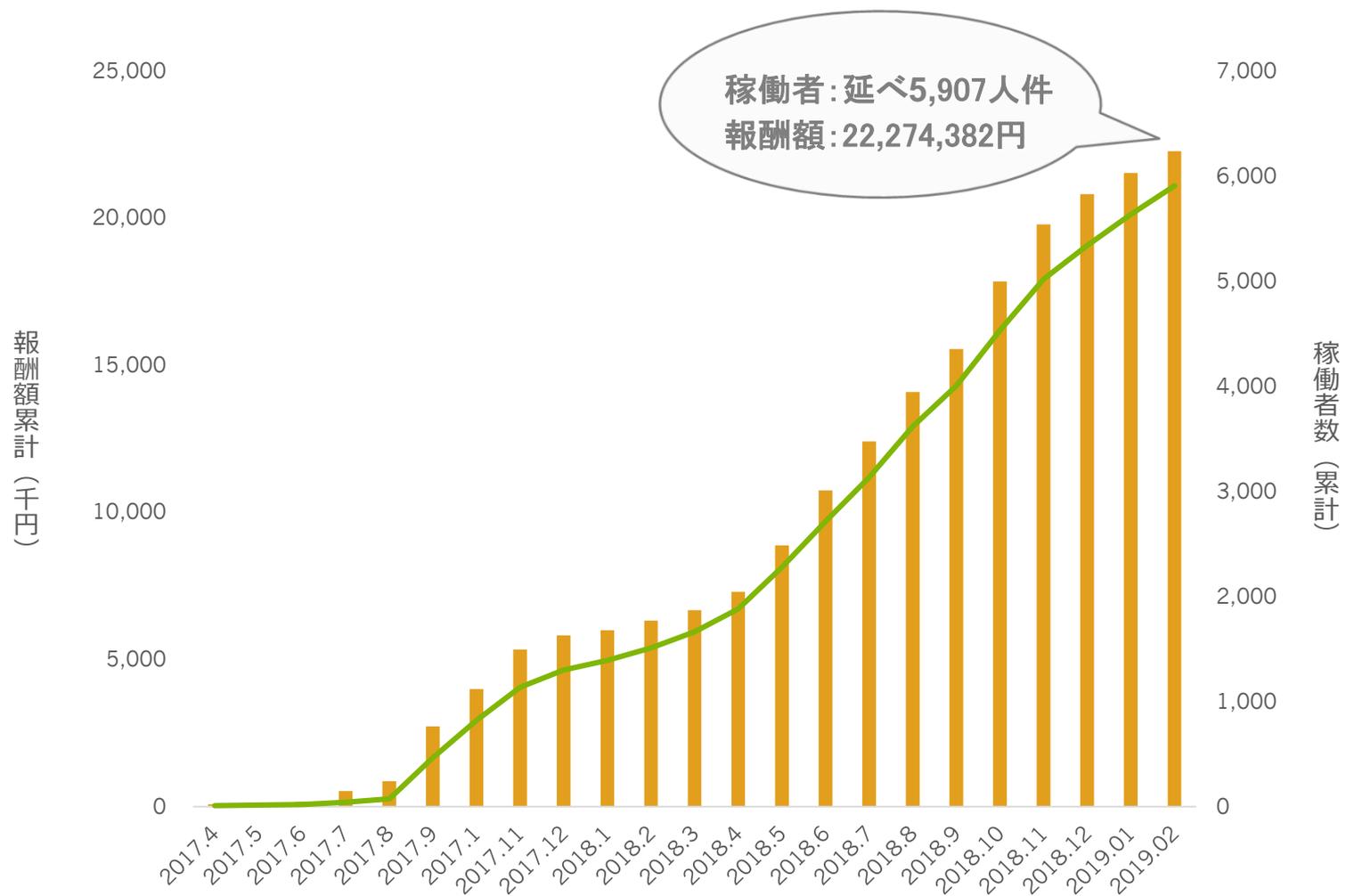
# しごとコンビニ登録者数



# しごとコンビニ実施案件数



# しごとコンビニ稼働者数と報酬額



人件：1つの案件を1日単位でみた  
場合の稼働者の人数

例) 1案件に3日間1人が従事 = 3人件  
1案件に1日で2人が従事 = 2人件

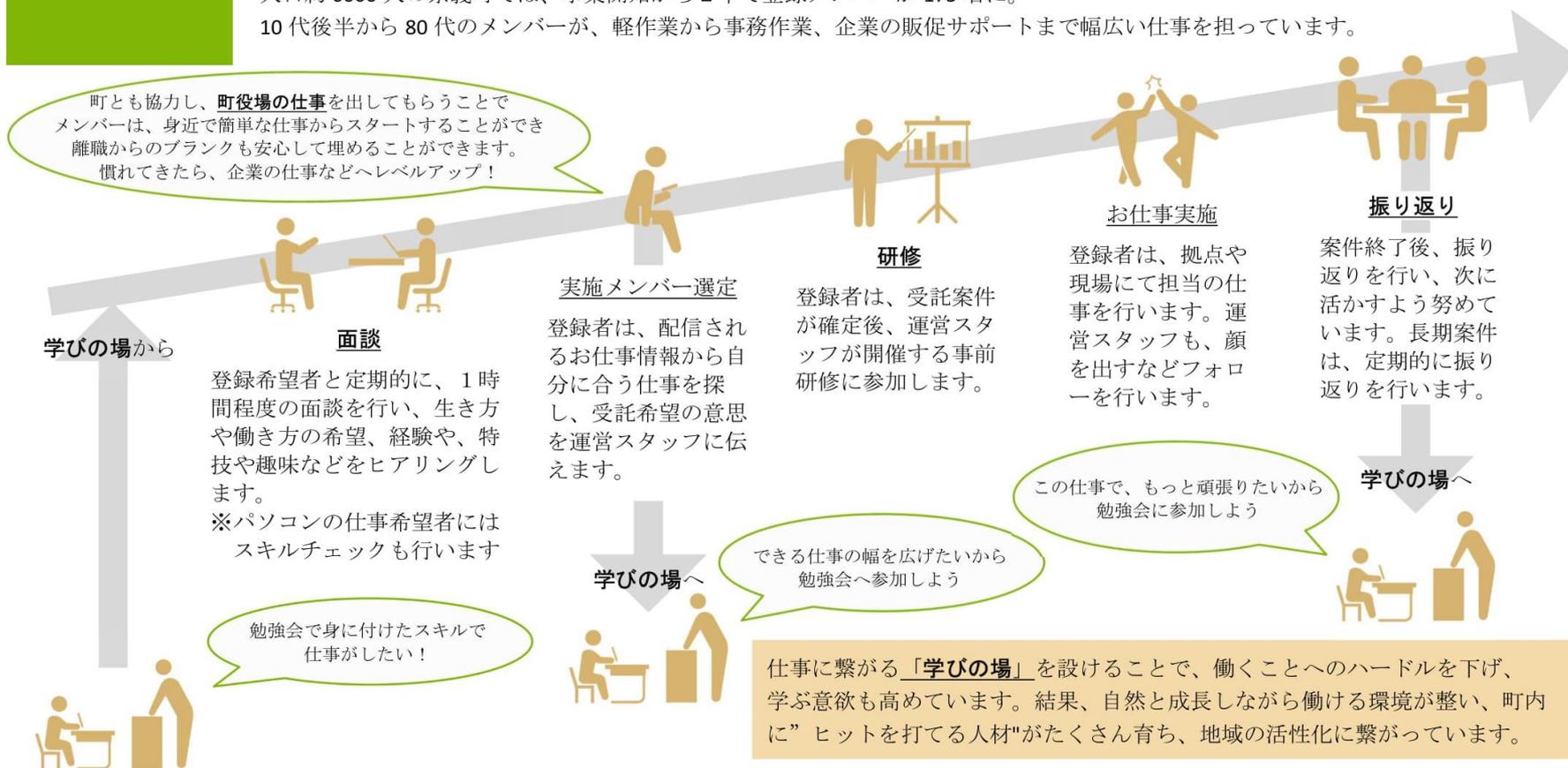
■ 報酬額    — 稼働者数

## 事業説明

# 町民の「ちょっとだけ働きたい」と「ちょっとだけ手伝ってほしい」という仕事をつなぐ事業 しごとコンビニ

人を雇ったり、派遣を頼むほどのものでもない。でも、自分たちでするには時間やノウハウがない・・・。  
そんな"ちょっとした仕事"を、時間などの制限があり正社員やパートとして働くことのできない町民が  
業務委託という形態で仕事をする仕組み、それが"しごとコンビニ"です。

人口約 6000 人の奈義町では、事業開始から 2 年で登録メンバーが 175 名に。  
10 代後半から 80 代のメンバーが、軽作業から事務作業、企業の販促サポートまで幅広い仕事を担っています。



「得意を仕事に！」そんな合言葉から広まりつつある新しい創業のカタチ

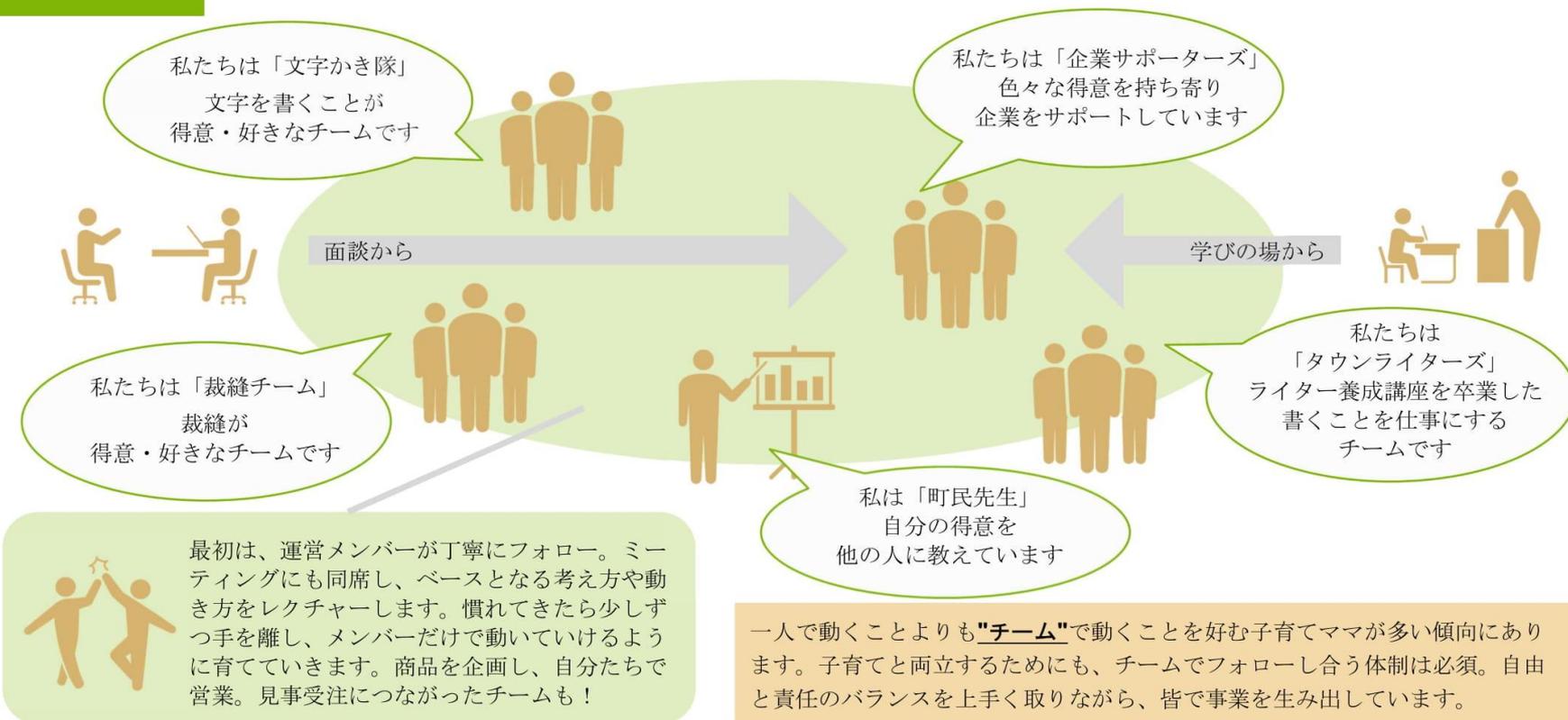
## "小商い"という言葉がぴったりの創業

しごとコンビニの丁寧な面談を通じてわかることは、登録メンバーの多様な経験と多彩な能力。

それらの経験と能力を生かして自ら仕事を生み出す動きをスタートさせた。

「起業しよう」では、気が引けてしまうメンバーたちも

「得意を仕事にしよう」という合言葉を元に、いくつかの事業を生みだし始めています。





## 得意を仕事にプロジェクト「文字かき隊」

登録時の面談で一番多かったメンバーの共通点、それは文字を書くことが好き・得意ということ。その共通点を持つメンバーに声を掛け、集まった5名で結成したのが「文字かき隊」

ミーティングを重ね、商売のネタを考えていきます。  
自分たちにできることは？そのサービスを求めている人は？

そうして、普段から気になっていた町内の直売所に POP を付ける提案をすることに。  
試作品を持って営業に行き、見事受注！殺風景だった直売所の印象を変えるお手伝いをしました。

現在メンバーは、活動の幅を広げ  
企業サポーターズとして企業の販促チラシの作成なども行っています。

case.1



まずは、どんなことができるか意見だし



文字書きのレベルをあげるため練習も



これがきっかけで仲良くなった仲間たち



似顔絵つきの POP を持って直売所に営業へ



## 得意を仕事にプロジェクト「裁縫チーム」

手芸が得意で、自分の服やカバンを作れる腕前を持つメンバー。

数年前に町に移住してきたものの周囲との繋がりが薄く

「知人をつくれたら」という思いでしごとコンビニへ登録しました。

しごとコンビニでは、得意の裁縫を生かして様々な仕事にチャレンジ！

自分のスキルを他の町民にレクチャーする「町民先生」では、講師デビューも果たしました。

そして、次のステップとして選んだのが、自ら商品を生み出し世の中へ発信していくという道。

フリーマーケットで自身の洋服の販売や、新商品の企画など

メンバーのペースで着実に歩み始めました。



case.2



まずは裁縫のお仕事受託からスタート



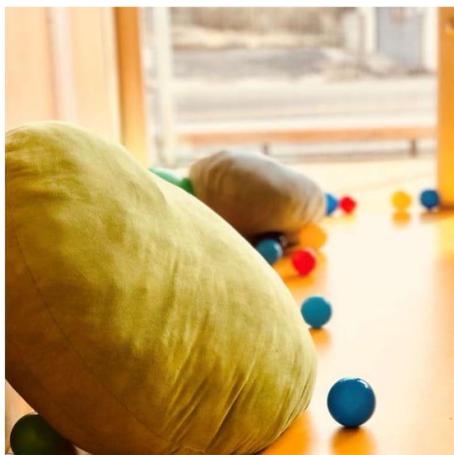
町民先生で、講師デビュー



運営スタッフと商品企画会議



新商品の試作品



## タウンライターズ

同じ「書く」でも、こちらは取材から記事を作成するというチーム。  
全5回の勉強会とアポ取りや訪問・取材テストが含まれたライター養成講座を卒業した人が所属します。  
卒業試験は、町内で配布される発行物の取材と原稿作成。  
実際に仕事をしながら、ライターとしての流れを学ぶことができます。  
卒業生は、引き続き町の発行物作成のお仕事を受託したり  
企業サポーターズとして、企業のSNSを更新、モニターへの取材・原稿作成を行うなど  
学んだスキルを活かして活躍しています。  
講座は3期を終了し、10名の卒業生が活動しています。



お子さんも一緒にライター養成講座受講中



本番さながらの取材テスト



緊張しながらお子さんと一緒に取材デビュー



なんどもやり直し、完成させた卒業試験！



## 企業サポーターズ

様々な得意を持つメンバーが、企業の販促サポートを行う「企業サポーターズ」イラストを描くこと、字を書くこと、取材をして記事を書くこと、写真の撮影などの得意と消費者視点を生かし、現在2社の企業の販促サポートを行っています。

具体的には、SNSの原稿作成、商品モニター、ギフトセットや新商品の案だし、チラシ作成、直売所の売場作りなど様々。ちょっとした意見を聞きたいなどのご要望も。

お客様の会社見学からスタートし、普段は経営者の方とチャットツールやネット中継でコミュニケーション。運営スタッフが最初は伴奏しながら、マーケティングの勉強会を開催したりアドバイスをしたり。企業の中だけでは出てこない発想やできない仕事に、お客様も大満足の企業サポーターズです。

case.4



まずは会社や商品を知るために、企業訪問



イラストでイメージを膨らませつつギフトを検討中



チラシに使用する写真も自分たちで撮影



商品モニターをしてくださっている方の取材へ



## 町民先生

自分の得意を、他の町民にレクチャーする「町民先生」  
自薦他薦問わず"先生"になることができます。

集客や教え方等、運営メンバーが伴奏しつつ実践を通じて学び、  
また、教えることを通じて自分自身の得意のブラッシュアップにも繋がっています。

これまでに、リラクゼーションや笑ヨガ、腸内美容、洋裁、季節に合わせた剪定教室、  
バルーンアートや浴衣の着付けなど、30代から70代と幅広いメンバーが講師としてデビュー。

1回ワンコインを目安に、受講者から参加費を受け取り、拠点利用料としてその1割を納める形で開催。  
これまでに12名のメンバーが、"先生"としてデビューしました。



子どもに大人気のパルーンアート教室



根強く人気な剪定教室

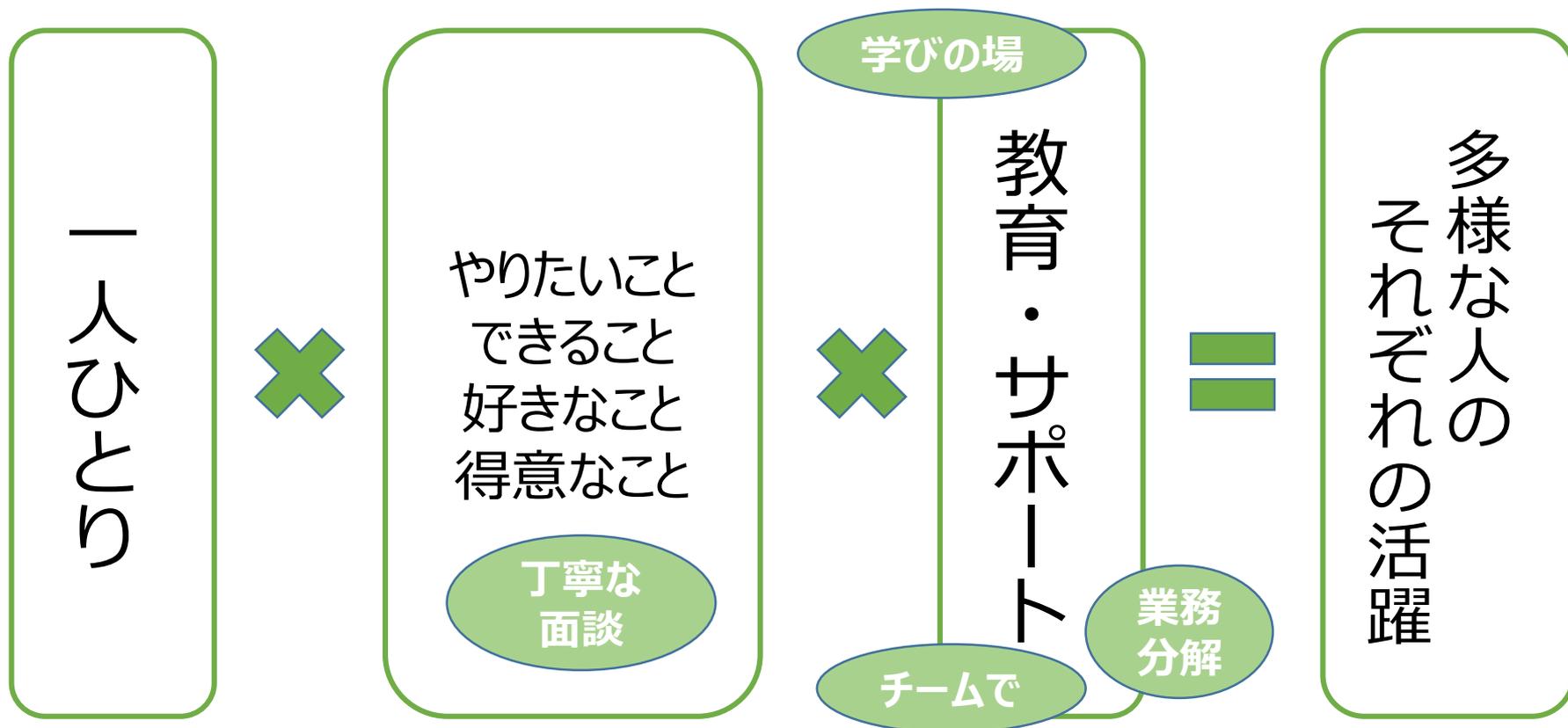


オリジナルバックを作れる洋裁教室



子どもの浴衣着付け教室

# 「個人」の視点から見た「しごととコンビニ」



※女性や高齢者等の活躍

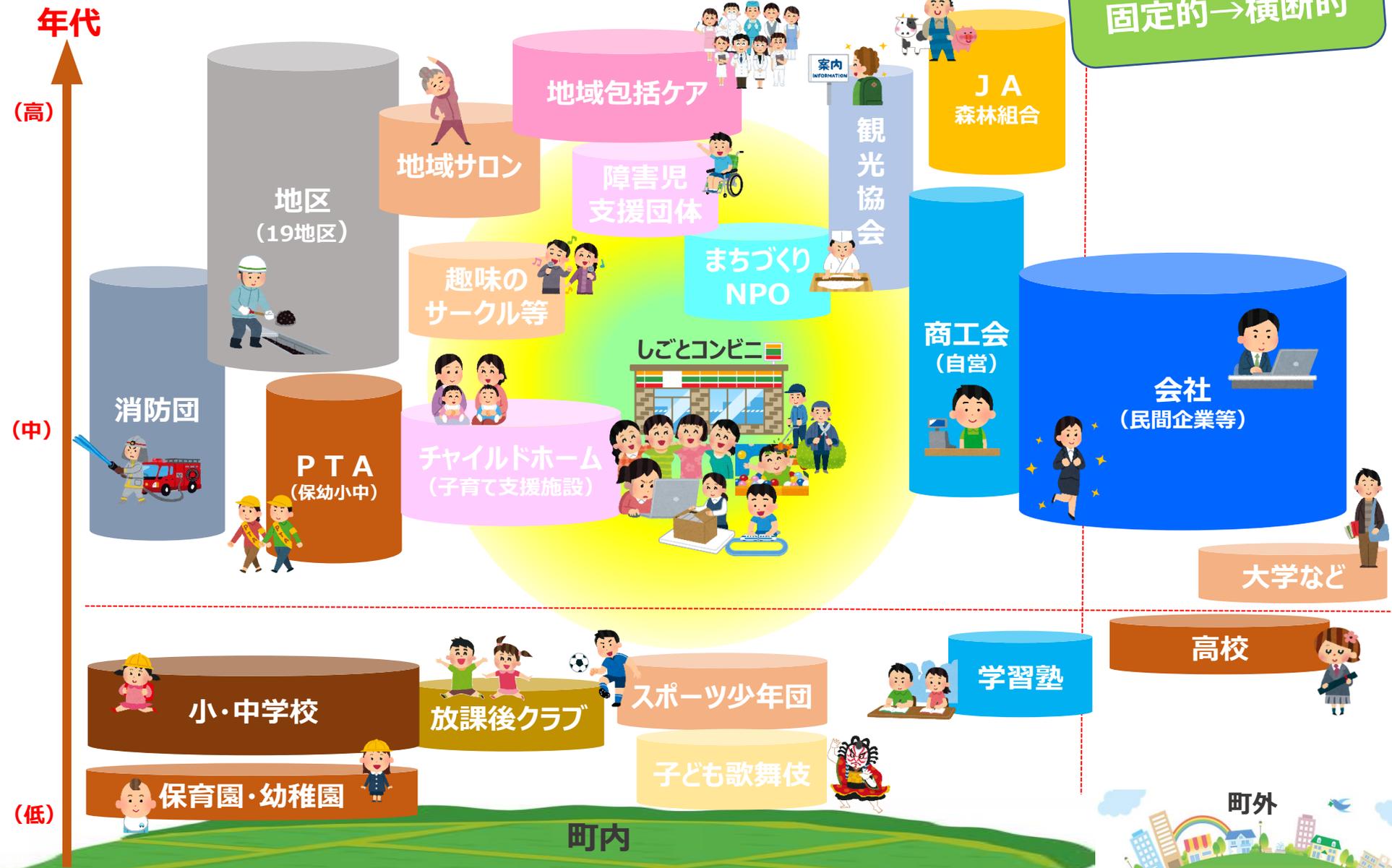
かつ、

今まで必ずしも活躍出来ていなかった層へアプローチ

# 「コミュニティ」の視点から

## 地域の中での“つながり”（奈義町の例）

属性も分野も  
固定的→横断的



# 「コミュニティ」「ソーシャル・キャピタル」の視点から

